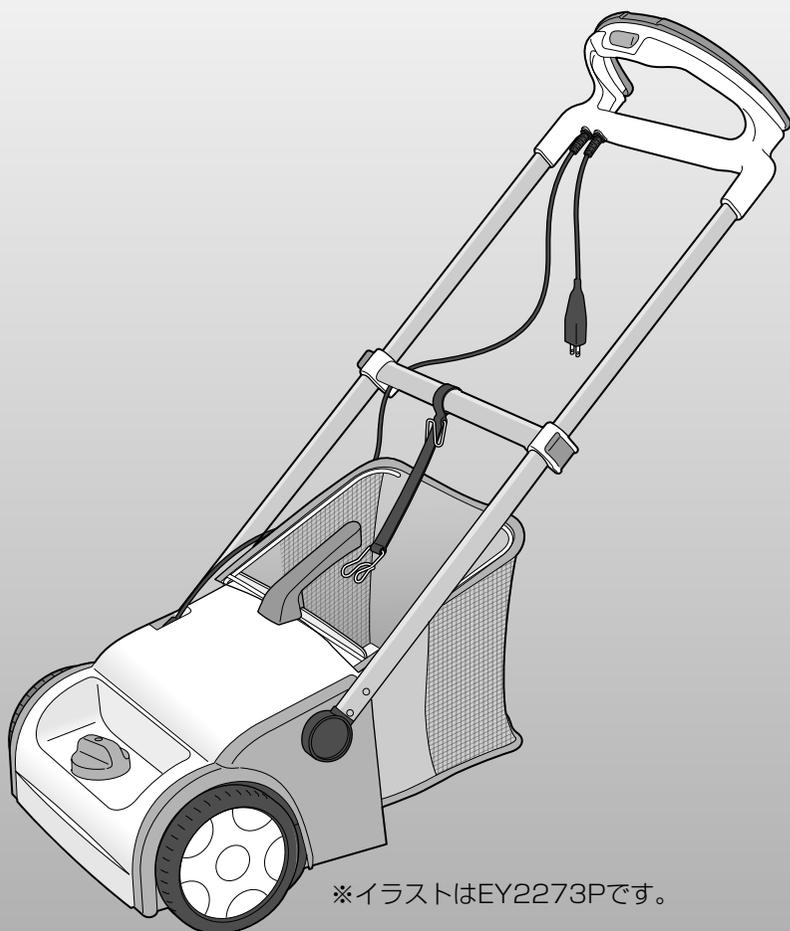


庭園芝刈機 **リール式**

EY2263P-W
EY2273P-W

取扱説明書



安全上のご注意	2~3	ご使用前に
各部のなまえ	4	
安全のための使用前点検	5	

本体の準備	6~7	使いかた
コードフックの使いかた	7	
芝刈り作業	8~9	
上手な刈りかた	10~11	

切れ味が悪くなったら	12~13	こんなときは
①刃のすき間調節のしかた		
②刃の交換のしかた (リール刃) ……14 (固定刃) ……15		
芝や異物がからんだときは	16	

お手入れ	17	お手入れ
保管・運搬方法	18	

別売品/仕様	19	お知らせ
芝生の年間お手入れ計画	20~21	
故障かな?と思ったとき	22	
保証とアフターサービス	23	

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

 警告	
 分解禁止	● 本体の分解をしたり、修理・改造は行わない。 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
 水ぬれ禁止	● 水につけたり、水をかけたりしない。 ● 雨ざらしにしない。 ● 雨中で使用しない。 ● 湿った場所や、ぬれた場所で使用しない。 ● ぬれた手で使用しない。 ショート、感電のおそれがあります。
 接触禁止	● 絶対に動作中の刃に手や足など身体を触れない。 けがのおそれがあります。
 ぬれ手禁止	● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
 禁止	● 可燃性の液体やガスのあるところで使用しない。 爆発や火災のおそれがあります。
	● 電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電、ショート、発火のおそれがあります。
	● 絶対に芝の排出口に手や足などを入れない。 守らないとけがのおそれがあります。
 禁止	● 芝刈り作業以外(除草など)には使用しない。 本体に負担がかかり事故やけが、故障のおそれがあります。
 禁止	● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、感電、発火のおそれがあります。
 禁止	● 子供だけで使わせない。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
 禁止	● 作業中、刃や本体で電源コードを引っかかない。 コードが破損し、感電のおそれがあります。

警告

● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。  電源プラグを抜く ・ 守らないと本体が不意に動作してけがのおそれがあります。 ・ 絶縁劣化による感電、漏電火災のおそれがあります。	● 使用しない場合は、水のかからない乾燥した場所に保管する。  守らないとショート・感電のおそれがあります。必ず守る
● 子供が触れないところに保管する。  必ず守る 守らないと事故やけがのおそれがあります。	● 必ず集草カゴを取り付けて使用する。  必ず守る 守らないとけがのおそれがあります。
● 必ず交流100Vで使用する。  必ず守る 直流電源やエンジン発電機または変圧器などを使用すると感電や火災のおそれがあります。	● 体調が悪いときは使用しない。また30分以上使用する場合は途中で休憩をとる。  守らないと体の疲労によりけがをします。必ず守る
● 本体を誤って落としたり、ぶつけたときは破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。  必ず守る 破損や亀裂、変形があるとけがのおそれがあります。	● 本体の異常(表面の温度・音)に気付いたときは点検・修理に出す。  必ず守る 修理の知識や技術のない人が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがのおそれがあります。修理はお買い求めの販売店または、パナソニック電工お客様相談窓口にお申し付けください。

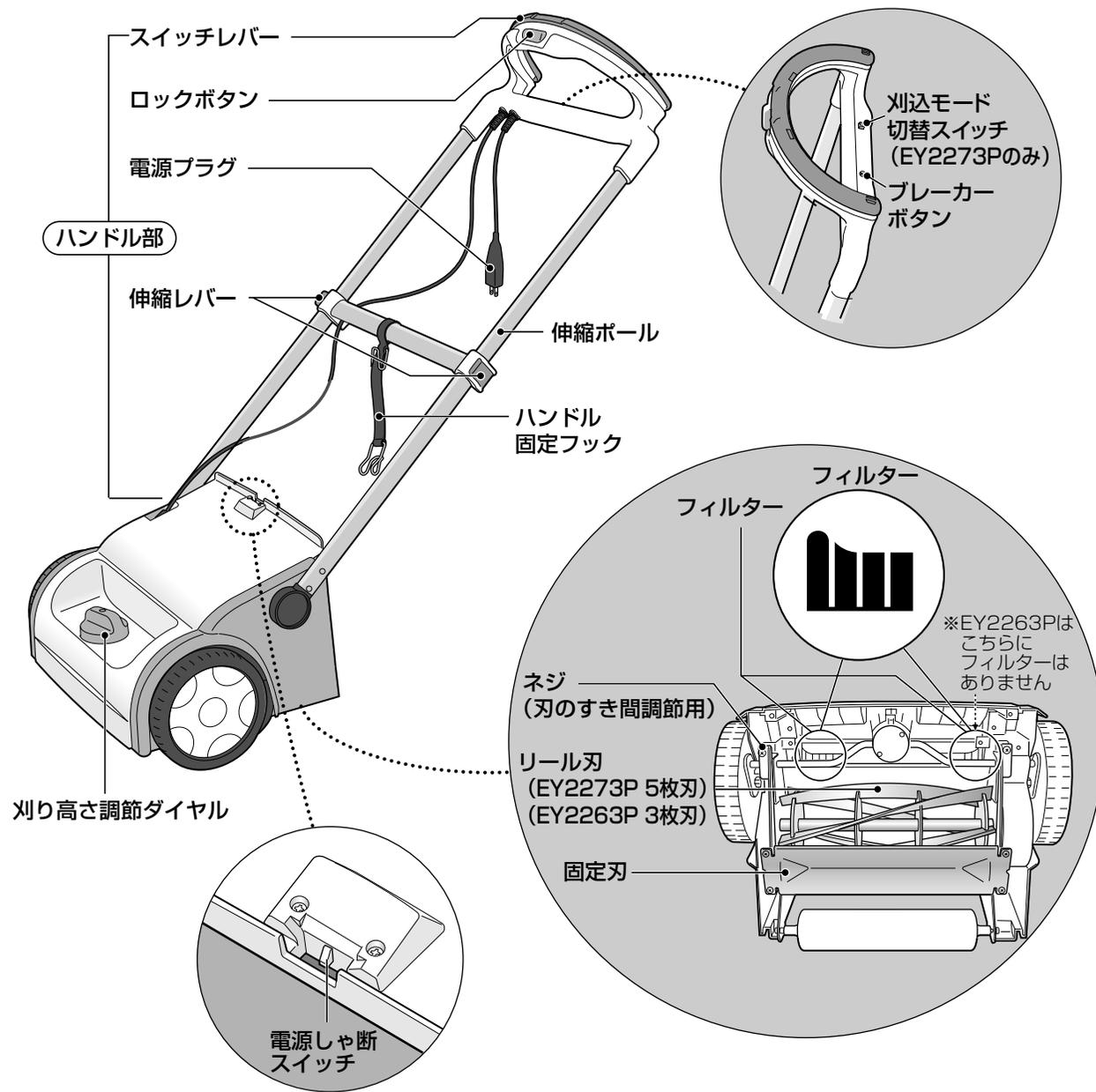
注意

 必ず守る	● ご使用前に電源コードや延長コード、本体の部品が損傷していないか点検する。 損傷があると感電やけがのおそれがあります。	● 刃の点検やお手入れは必ず刃が止まっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いて行なう。 守らないとけがのおそれがあります。
	● 長袖・長ズボン・運動ぐつなどを着用する。 守らないと刃に小石などがあたって飛散し、けがのおそれがあります。	● 刃の点検やお手入れのときは必ず手袋を着用する。 守らないとけがのおそれがあります。
	● スイッチ「OFF」を確かめてから電源プラグを抜き差しする。 守らないと感電やけがのおそれがあります。	● 刃にカケ・フレなど異常がある場合はすぐに新しい刃と交換する。 交換しないと性能が発揮できないだけでなく、けがのおそれがあります。
	● 刈り込みを行なう場所に障害物がないか点検する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。	● 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しない。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないで必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 守らないと感電やショートして発火するおそれがあります。	● 他人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書も渡す。 誤った使いかたをすると事故やけがのおそれがあります。

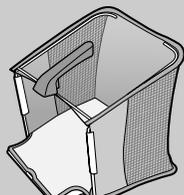
使用要領

各部のなまえ

※イラストはEY2273Pです



付属品



●集草カゴ



●延長コード(10m)



●コードフック

安全のための使用前点検

服装を点検する

⚠注意

- 長袖・長ズボン・運動ぐつなどを着用する。守らないと刃に小石などが当たって飛散し、けがのおそれがあります。

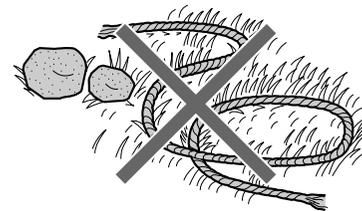
- 安全で活動しやすい衣服を着用してください。



芝刈りする場所を点検する

⚠注意

- 刈り込みを行なう場所に障害物がないか点検する。守らないと事故やけがのおそれがあります。



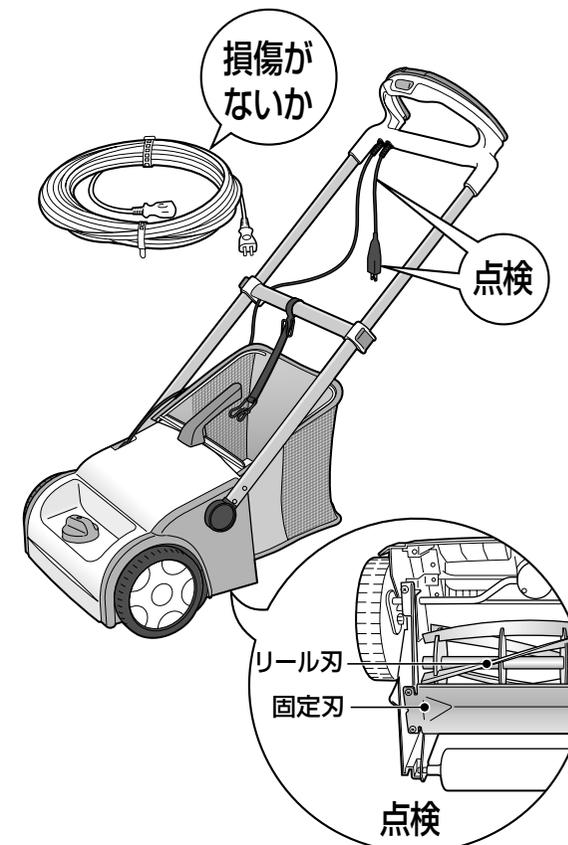
- 朝露や散水後などのぬれ芝は刈らないでください。性能が発揮できず、故障のおそれがあります。
- 小石や枝など、固い物は取り除いてください。刃のカケ、ワレ、小石などの飛散をまねくおそれがあります。
- ひもなどは取り除き、雑草は事前に刈り取ってください。からみつくおそれがあります。

コードや刃を点検する

⚠注意

- 延長コードや本体のコードに損傷がないか点検する。損傷があると感電やけがのおそれがあります。
- 刃にカケ・ワレなど異常がある場合はすぐに新しい刃と交換する。交換しないと性能が発揮できないだけでなく、けがのおそれがあります。

- 点検は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

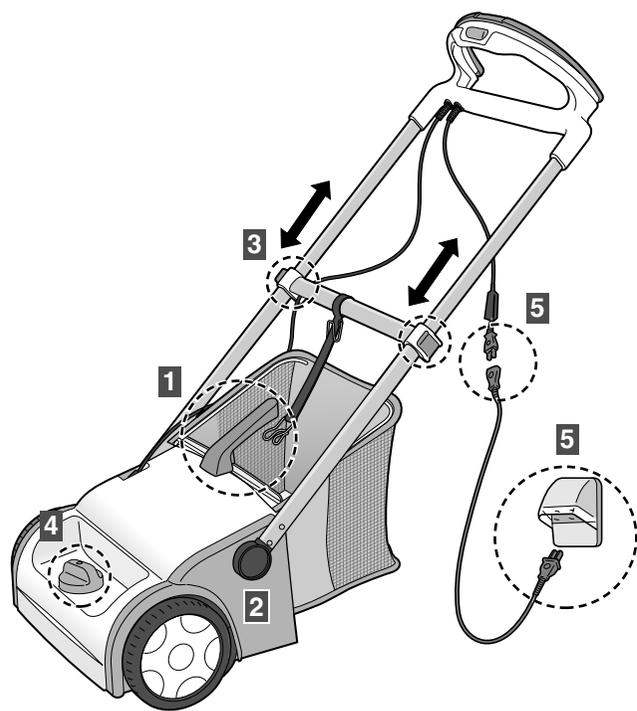


使用前点検

警告

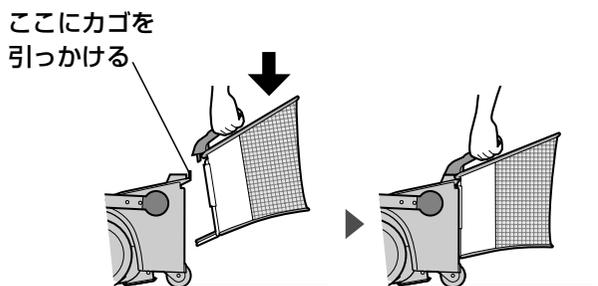
- 必ず集草カゴを取り付けて使用する。
- 電源しゃ断スイッチを押したままの状態にするような行為(例・テープを貼るなど)はしない。守らないとけがのおそれがあります。

- 延長コードは当社付属コードを使用してください。
- 延長コードは30m以上に接続して使用しないでください。守らないと故障のおそれがあります。



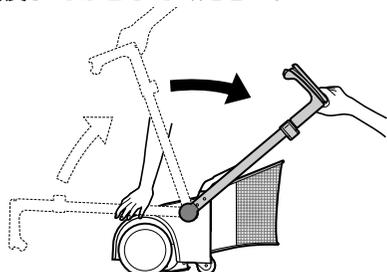
1 集草カゴを上から取り付ける

- 集草カゴを取り付けないと電源しゃ断スイッチが働き、作動しません。



2 本体を手で押さえながら、ハンドル部をおこす

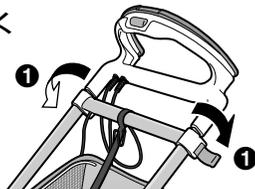
- まず、途中で止まるまでおこし、さらに最後までおこしてください。



3 伸縮ポール(左右とも)の長さを調節する

- 使いやすい姿勢に合わせて調節してください。

①伸縮レバーを開く



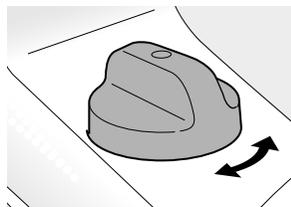
②伸縮ポールの長さを調節する

③伸縮レバーを閉じて位置を固定する



4 刈り高さを設定する

- 数値は刈った後の芝の長さ(mm)の目安です。芝地の状態で多少長さが変わることがあります。
- 刈り高さ調節ダイヤルを回し、お好みの刈り高さの目もりに合わせる。



- 約5mm～約40mmの範囲で15段階に設定できます。

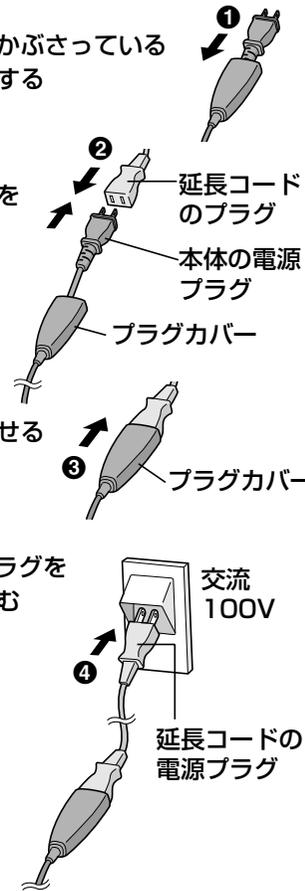
5 電源プラグを接続する

①本体の電源プラグにかぶさっているプラグカバーを移動する

②本体の電源プラグと延長コードのプラグを接続する

③プラグカバーをかぶせる

④延長コードの電源プラグをコンセントに差し込む



6 刈込モードを設定する (EY2273Pのみ)

- 作業状況に合わせて刃の回転スピード・パワーを切り替えることができます。
 - 通常は標準でのご使用がおすすめです。
- <ハンドル操作部>

標準 強

<選定の目安>

- できるだけ静かに作業したいとき

「標準」がおすすめ

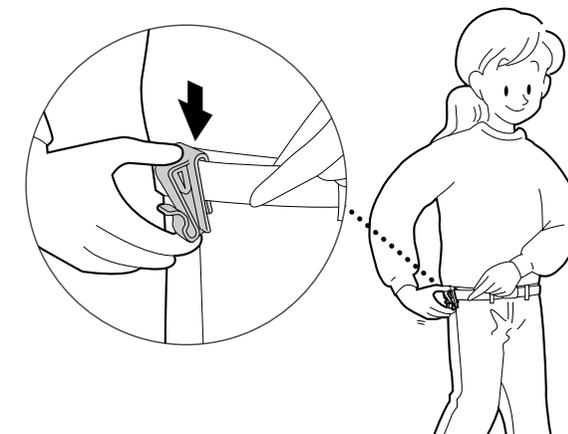
- 芝が密集していて「標準」ではパワー不足を感じる時
- 早く芝を刈りたいとき

「強」がおすすめ

コードフックを利用することにより、足にコードが引っかかりにくくなり、より快適に作業できます。

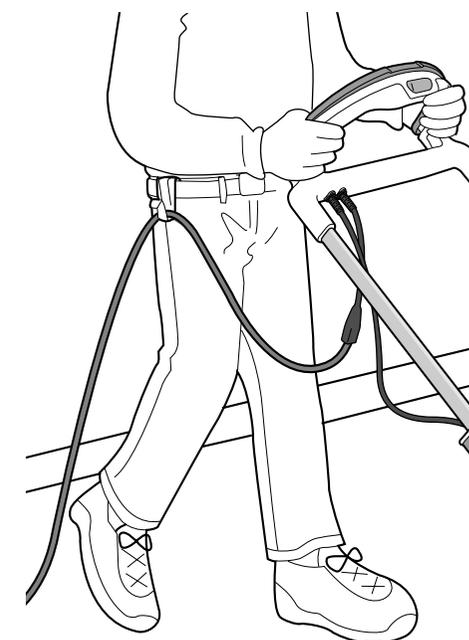
1 コードフックを腰のベルトなど、固定できる場所にしっかり差し込む

- ポケットには差し込まないでください。



2 延長コードをコードフックに引っかける

- 延長コードは使いやすい長さに調節してください。



警告

- 芝刈り作業以外（除草など）には使用しない。本体に負担がかかり事故やけが、故障のおそれがあります。
- 可燃性の液体やガスのあるところで使用しない。爆発や火災のおそれがあります。
- 雨中や水たまり、および散水直後は使用しない。感電のおそれがあります。
- 絶対に動作中の刃に手や足など身体を触れない。けがのおそれがあります。
- 絶対に芝の排出口に手や足などを入れない。守らないとけがのおそれがあります。
- 作業中、刃や本体で電源コードを引っかけない。コードが破損し、感電のおそれがあります。
- 体調が悪いときは使用しない。また30分以上使用する場合は途中で休憩をとる。守らないと体の疲労により、けがをするおそれがあります。

コードを刃で切断しないように注意する

スイッチレバーを両手でしっかり持って作業する

集草カゴを確実に取り付ける
P6参照

*集草カゴが満杯になる前に芝を捨てる
(芝がこぼれるため)

ぬれ芝は刈らない

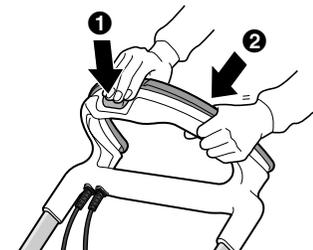
※芝の状態によって集草性が異なります。また、芝がつまって集草性が悪くなったときはつまった芝を取り除いてください。
P16参照

- 刈り込み能力は、芝の種類や状態によって低下することがあります。
- 西洋芝は、発芽から約3カ月は、葉がやわらかいためきれいに刈れません。

スイッチを入れ、芝を刈る

- 1 ロックボタンを押しながら
②もう一方の手でスイッチレバーとハンドルをにぎって押し込む

■スイッチが入り本体が動作します。



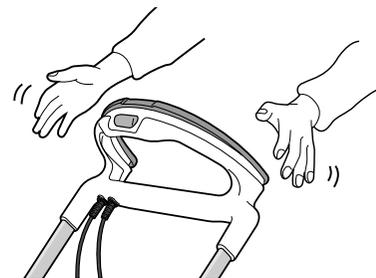
- 2 ロックボタンをはなし、スイッチレバーを両手でしっかり持って作業する

■上手な刈りかた P10参照



スイッチを切る

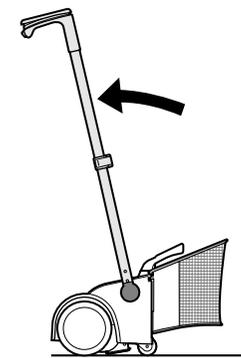
動作中にスイッチレバーから手をはなす



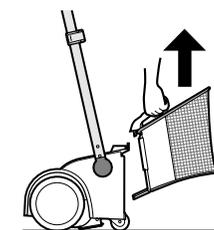
- スイッチレバーがもどり本体が止まる。
- 再び動かすときはロックボタンを押してスイッチを入れ直す。

芝を捨てる

- 1 途中で止まる所までハンドル部を前方に倒す



- 2 集草カゴをはずし、芝を捨てる

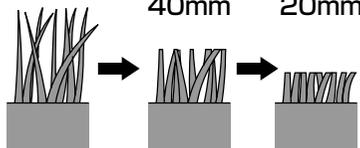


芝刈り作業が終わったら

- スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
- 必ずお手入れをしてから保管してください。
P17・18参照

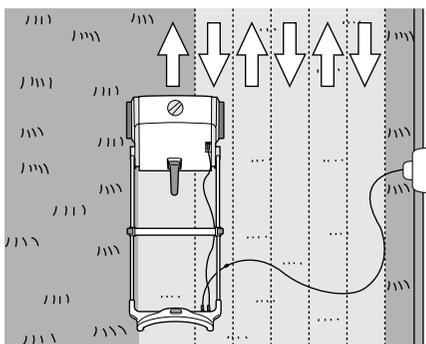
長い芝は順次短く刈る

- 例：日をおいて2回に分けて順次短く
まず 40mm そして 20mm



- ・長い芝（100mm前後）は、40mmから順次刈り込んでください。
- ・一度に短く刈ると、芝がからみついて本体の機能を低下させると同時に、芝生を傷めるおそれがあります。
- ・また、軸刈になるため芝生が枯れることがあります。

電源コンセントに近い方から刈る



- ・電源コンセントに近い方から刈るとコードがじゃまになりません。

コードを切断しないように、ご注意ください。

ゆっくりと刈る

- 刈り込みの速さは、芝生のはえ具合に合わせて調節してください。

回転が著しく遅くなったり、ブレーカーが作動する場合は、さらにゆっくりと刈ってください。



芝地を平坦にする

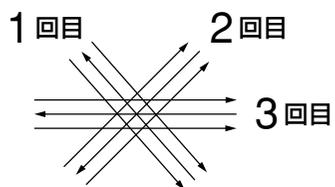
- 目土を入れたり、ローラー（市販品）で転圧、または足で踏みならす。
(刈りムラを抑えることができます)



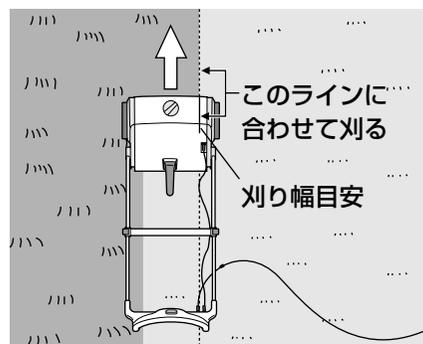
- ・芝地が凸凹な場合、芝生を傷めたり、刃の切れ味が悪くなるおそれがあります。

刈り込み方向を変えて重ねて刈る

- 刈り込み方向を変えて刈る。
・芝目が一定方向になるのを防ぐことができます。



- 一度刈った部分を重ねて刈る。
・ムラを抑えることができます。
・刈り幅目安より内側で刈ると刈り残しを防ぐことができます。

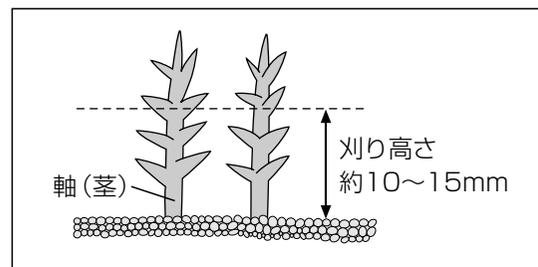


芝を5mmに短く刈る方法

- 今ある芝生をそのままの状態でも5mmに短く刈り込むと、芝が茎だけとなり弱まります。
下記の手順を参考に、5mmの高さに刈り込んでください。
時期は、芝の生長期の5～9月が適しています。
※お断り：栽培条件、天候などによりその結果が異なる場合があります。お客様ご自身の判断と責任のもと実施してください。

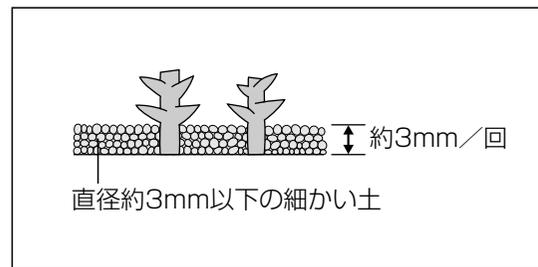
1 約10～15mmに刈り込む

- 刈り高さを約10～15mmに調節し、芝の軸（茎）だけにならないように葉を残して刈ります。
(1回に刈る長さは草丈の1/3～1/2に抑えてください)



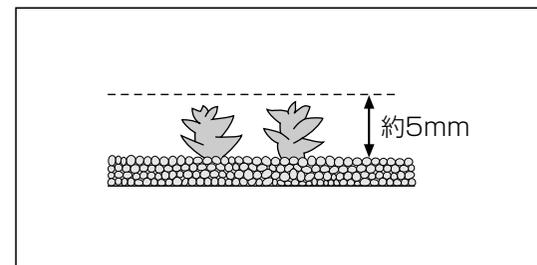
2 目土（目砂）を入れる

- 目土を芝地から約3mmの高さまで芝地に入れ、ローラー（市販品）がけをします。
この作業を3回程度繰り返して、芝の軸（茎）だけ（芝地より約3mmの高さ）が埋まるよう仕上げます。散水は毎日（1日1回）行います。
■目土は芝用目土か川砂（粒子3号程度）をお使いください。



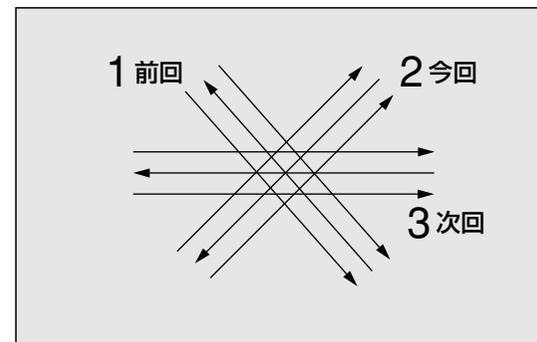
3 約5mmに刈り込む

- 目土を入れてから約15日後、いよいよ刈り込みます。刃の刈り高さを5mmに調節して、毎日、または1日おきに刈り込みます。
※芝地が平坦でないと、固定刃と芝地が引っかかる場合がありますので必ずローラー（市販品）がけをして平坦にしてください。無理に刈り込んだ場合芝地を痛める原因になります。



4 刈り込み方向

- 芝刈りは、芝目が一定方向にならないように毎回角度を変えて行ってください。



切れ味が悪くなったら(①刃のすき間調節のしかた)

⚠ 注意

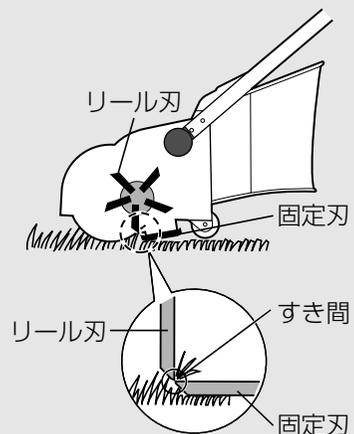
- 必ずハンドル固定フックを本体に引っかける。守らないと本体が倒れてけがのおそれがあります。
- スイッチを切り、刃が完全に停止したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 必ず手袋を着用する。

1 リール刃と固定刃のすき間を調節する

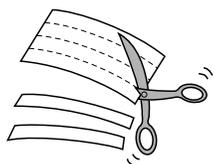
- お買い上げされた商品は、刃のすき間が調節されていますのでそのままご使用ください。新品であっても芝の状態により、切れ味が変わる場合があります。うまく刈れない場合には、刃のすき間調節してください。
- すき間調節を行なうときは、必ず延長コードプラグをコンセントから抜いてください。

■なぜ、刃のすき間を調節するのでしょうか？

・リール式芝刈機はリール刃と固定刃の2枚の刃があり、リール刃が回転して固定刃との間に芝をはさんだ瞬間に芝を刈り込みます。このため、リール刃と固定刃のすき間が芝の切れ味を左右し、刃先の摩耗ですき間が変化するため、調節が必要となるのです。

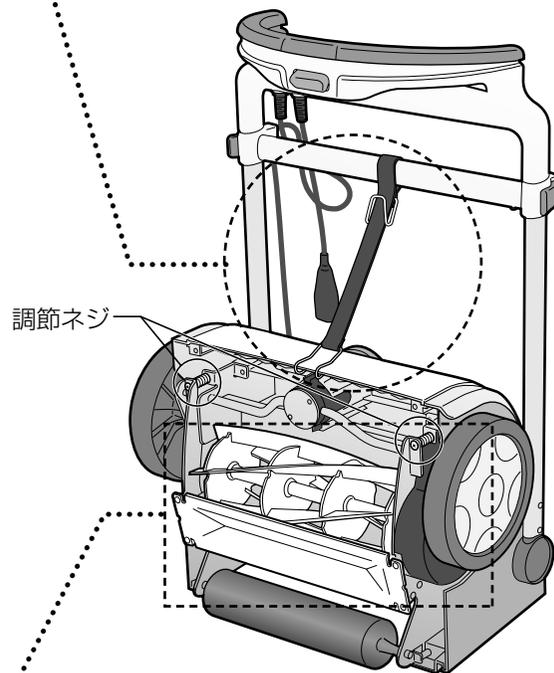


- ①ハガキもしくはハガキと同等の厚さの紙を幅15mm程度に切っておく



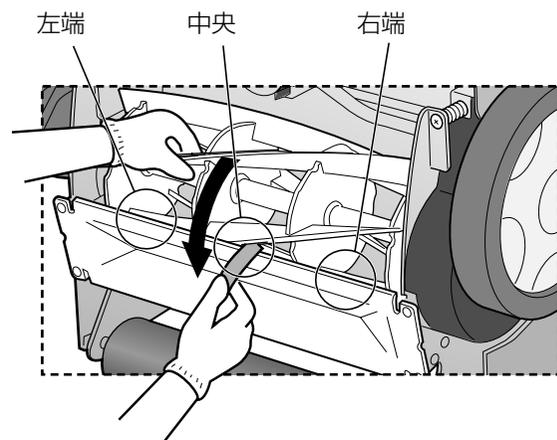
②本体を図の様に立たせる

- 平坦な場所に立たせてください。



③刃のすき間調節のしかた 右表を見ながら、左右の調節ネジを使って調節する

- ①のハガキが左端、右端、中央の3カ所で確実に切れるように調節してください。



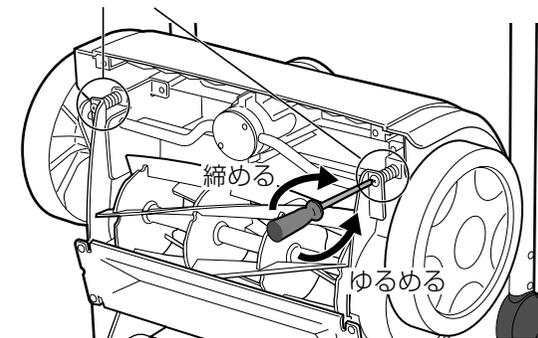
- 手でゆっくりとリール刃を回してください

■刃のすき間調節のしかた

(調節のポイント)

- リール刃と固定刃を当て、動かなくなってからゆるめる方法で調整を行ってください。

ネジ (刃のすき間調節用)



手順	ネジ調整	ハガキの切断状態	刃の動き具合 (手で回して確認)	リール刃と固定刃の距離	作業状況
①	刃が動かなくなるまで締める (締めすぎに注意)	切れない	動かない	接 触	作業できません。(刃が動きません。)
②	少しゆるめる	切れる	動くがガリガリと音がうるさい	接 触	・作業音がガリガリとうるさい。 ・刃先を傷め刃寿命が短くなる。
③ 完成	②より更に少しゆるめる	切れる	動 <	接触するかしないかの距離	最適です。きれいに刈り込めます。
④	ゆるめすぎ	確実に切れない	動 <	離れている	芝の切り口が悪くなり、立ち枯れをするおそれがあります。

ゆるめすぎたら①にせよ

いそぎ

⚠ 注意

- スイッチを切り、刃が完全に停止したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 必ず手袋を着用する。
- ハンドル固定フックを本体に引っ掛ける。守らないとけがのおそれがあります。

交換の際は必ず専用刃をお使いください。**P19参照**
刃を取り付けた後は確実にネジを締めてください。
交換後は必ず、すき間調節してください。**P12参照**

■ 刃の寿命 (使用条件によって異なります)

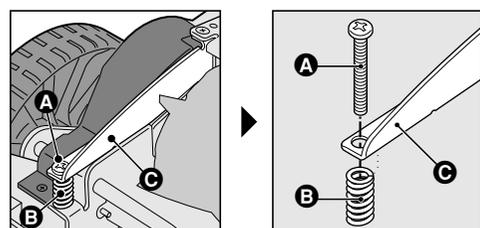
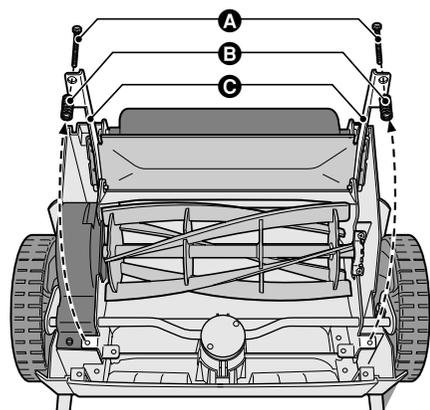
刃の種類	EY2273P	EY2263P
リール刃	約4年	約4年
固定刃	(標準モードの場合)	約4年

尚、EY2273Pの場合刈り込みモードが強い場合は約3年となります。

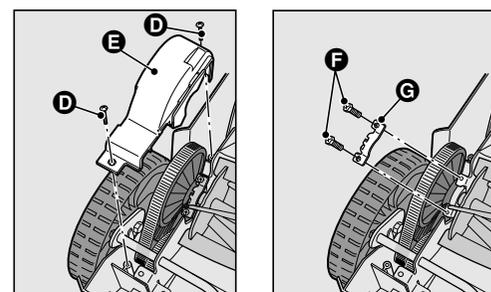
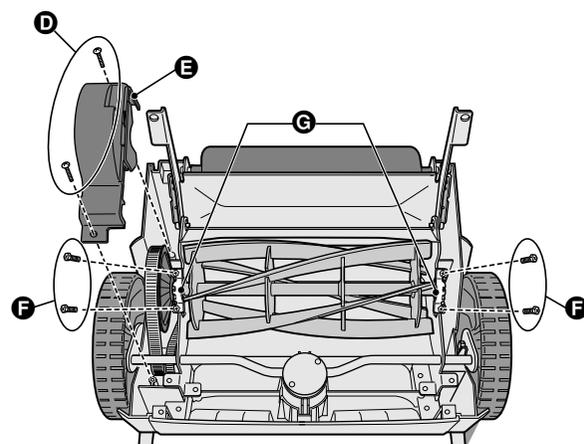
■ 必ず当社専用刃に交換のうえ、お使いください。
別売品について **P19参照**

1 本体を裏返し、

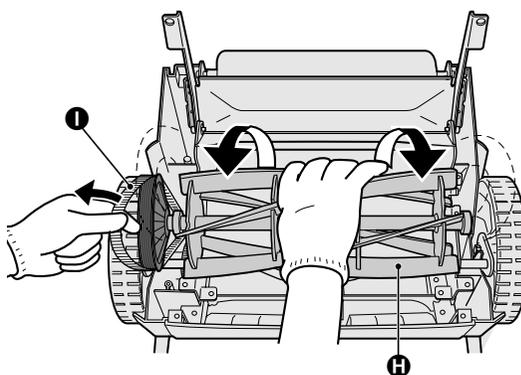
- ①ネジ(刃のすき間調節用) **A** (2本) と
- ②パネ **B** (2本) をはずして、
- ③リール刃固定支 **C** を上げる



- ①プーリカバー固定ネジ **D** (2本) をはずして
- ②プーリカバー **E** を取り、
- ③リール刃固定ネジ **F** (4本) をはずして
- ④リール刃固定板 **G** を取る



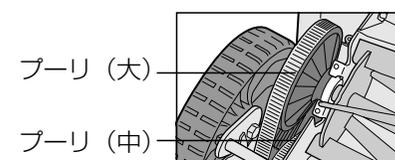
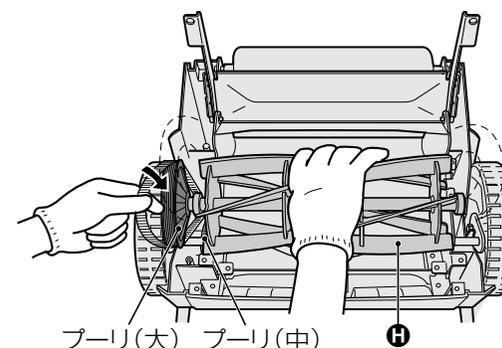
- ①リール刃 **H** を上げながら手前に移動させ
- ②Vベルト **I** をはずして
- ③リール刃 **H** を本体からはずす



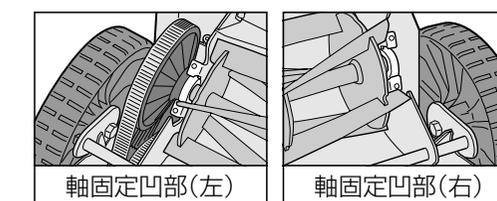
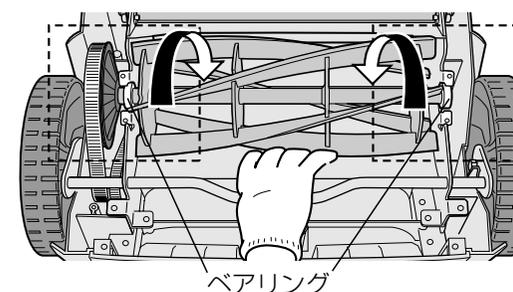
- ④新しいリール刃をベルトに取り付ける

①ベルトをプーリ(大)、プーリ(中)の溝に確実にはめ込む。

※ 確実にハマっていない場合は故障の原因になります。



- ②リール刃のベアリングを本体左右の軸固定凹部へ確実にハマ込む。

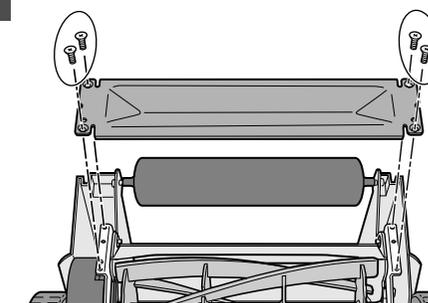


- ⑤手順 1・2 と逆の手順で、
D・**E**・**F**・**G**の各部品をリール刃固定ネジ **F**・
プーリカバー固定ネジ **D**・ネジ(刃のすき間調節用) **A** で
確実に締める

⚠ 注意

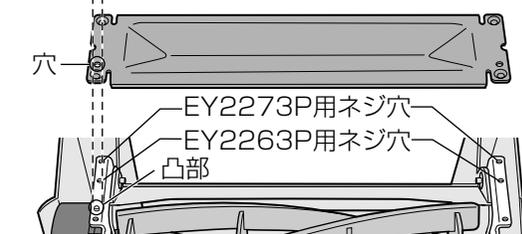
- スイッチを切り、刃が完全に停止したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 必ず手袋を着用する。
- ハンドル固定フックを本体に引っ掛ける。守らないとけがのおそれがあります。

1 ネジ(4本)をはずす



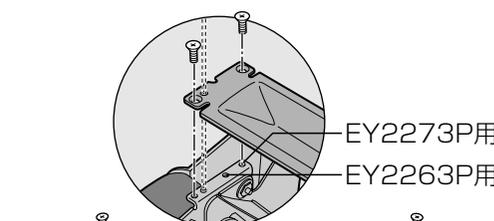
2 新しい固定刃を取り付ける

- ①固定刃の穴とリール刃固定支の凸部を合わせる。



※機種によって本体側のネジ穴が違いますのでご注意ください。

- ②ネジ(4本)を締める。



3 刃のすき間を調節する **P12参照**

⚠ 注意

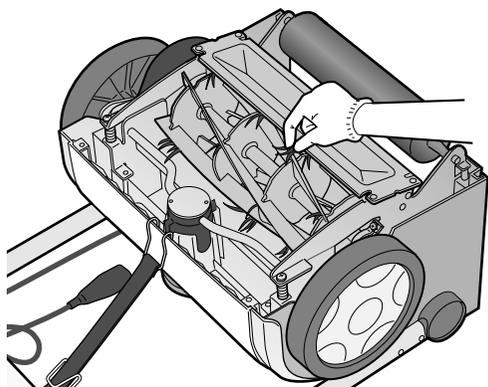
- スイッチを切り、刃が完全に停止したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 必ず手袋を着用する。
- ハンドル固定フックを本体に引っ掛ける。守らないとけがのおそれがあります。

刃に芝や異物などがからんだり、巻き込んだりすると、モータ保護のためブレーカーが作動して、刃が回転しなくなります。そのときは以下の要領で再度動作させてください。

1 スイッチを切り、刃の完全停止を確認し、電源プラグをコンセントから抜く

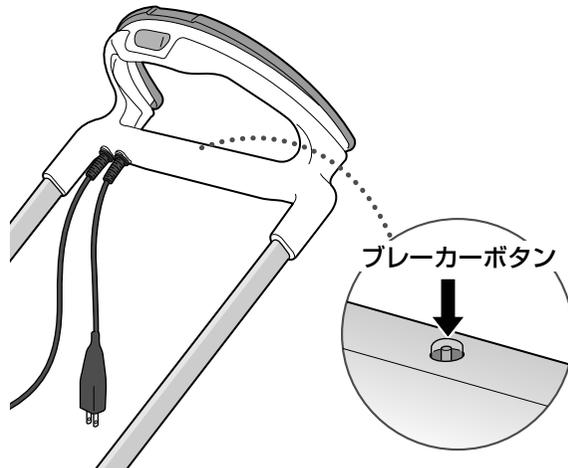
2 リール刃にからんだ芝や異物などを取り除く

- 刃に気をつけてください。
- 長芝などを刈り込んで刃部に芝が巻き付いた場合は刃を取りはずしてから取り除いてください。刃の交換のしかた **P14・15参照**



3 ブレーカーボタンを押す

- 15秒以上本体を休止させてから押してください。



4 延長コードプラグをコンセントに差し込みスイッチを入れて動作確認する **P6・7参照**

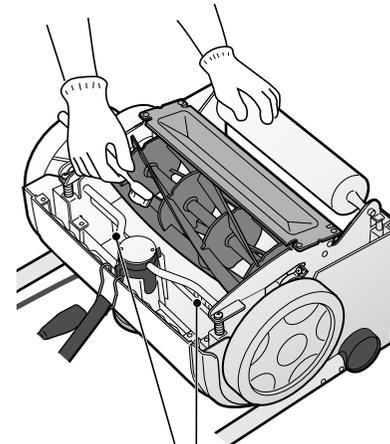
- 異常音がる場合は、点検・修理に出してください。 **P23参照**

⚠ 注意

- スイッチを切り、刃が完全に停止したことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。
- 必ず手袋を着用する。
- ハンドル固定フックを本体に引っ掛ける。守らないとけがのおそれがあります。

リール刃

- 刃についた汚れを落とす。
 - ・ 刃の保護のためブラシなど（金属製以外）をご使用ください。



フィルターに付いた芝をよく取り除いてください
(EY2273P 2カ所)
(EY2263P 1カ所)



- 刃に注油する場合は、必ず植物油または専用オイル（別売品）をご使用ください。他のオイルを使用すると、変色・変形・ワレ等、本体が破損するおそれがあります。 **P19参照**

本体

- 乾いた柔らかい布でかるくふく。
 - ・ 集草カゴは、こまめに内部をふいてください。
- 汚れがひどいときは薄めの台所用中性洗剤を含ませた布でふく。

水洗いやベンジン、シンナーなどの使用は、絶対にしないでください。



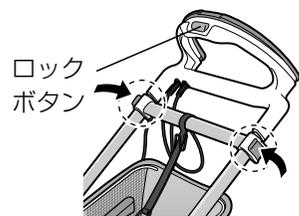
保管

警告

- 使用しない場合は水のかからない乾燥した場所に保管する。
守らないとショート・感電のおそれがあります。
- 子供が触れないところに保管する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 運搬時は電源プラグをコンセントから抜く。
守らないと本体が不意に動作してけがのおそれがあります。

1 伸縮ポールを縮める P6参照

- ① 伸縮レバーを開く
- ② 伸縮ポールを下げる
- ③ 伸縮ポールを一番下まで下げたら、伸縮レバーを閉じて固定する



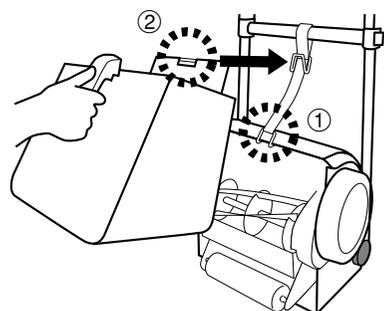
- ロックボタン部分を持ち上げたりしないでください。
ロックボタン部分のハンドル破損を防ぐため。

2 伸縮ポールを前方に倒し、集草カゴをはずす

- 「芝を捨てる」の1 2と同じ手順ではずしてください。 P9参照

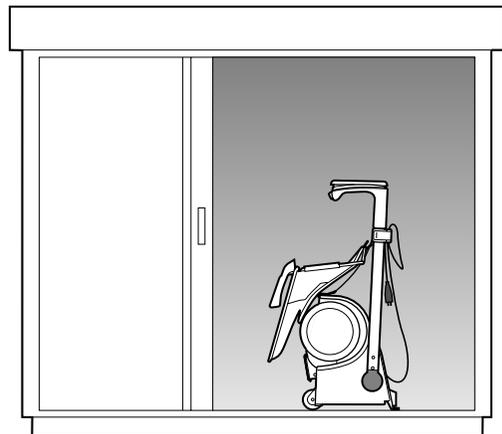
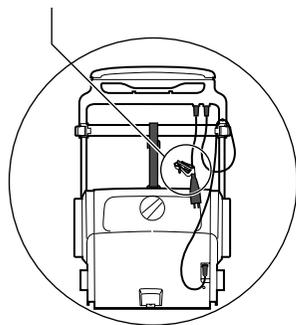
3 集草カゴを収納する

- ① ハンドル固定フックを本体に引っかける
- ② 集草カゴを集草カゴ固定フックに引っかける



4 高温・湿気避け、子供が触れないところに保管する

- 吊り下げて保管しないでください。
- コードフックは紛失しないように本体のコードにしっかりと引っ掛けて保管してください。



運搬方法

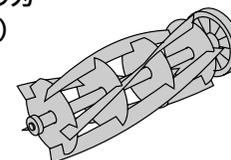
- 下図のようにローラーで転がすと楽に運ぶことができます。



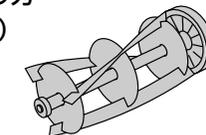
注意

- 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しない。
守らないと事故やけがのおそれがあります。

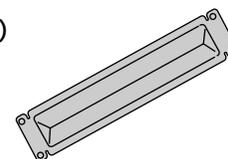
5枚超硬コーティングリール刃
(EY2273・EY2273P用)
EY8208



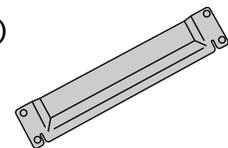
3枚超硬コーティングリール刃
(EY2263・EY2263P用)
EY8210



超硬コーティング固定刃
(EY2273・EY2273P用)
EY8209



超硬コーティング固定刃
(EY2263・EY2263P用)
EY8204



延長コード(15m)
EY801

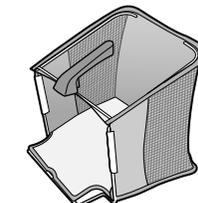


専用オイル
ES003P



- 補修部品としてお買い求めいただけます。

集草カゴ
EY2273W7747
EY2263W7747



■EY2263P

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約300W
質量(重量)	約10.2kg(集草カゴ含む)
大きさ(概略寸法)	作業時 長さ580×幅403×高さ400mm (集草カゴ含む、ハンドル部含まず)
	収納時 高さ724mm 長さ410mm(集草カゴ含む) 295mm(集草カゴ含まず) ※大きさは概略寸法です
刈り高さ	15段調節 約5~約40(mm)
刈り込み幅	約230(mm)
回転数	約1,700回転/分

■EY2273P

電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	強：約370W/標準：約220W
質量(重量)	約11.5kg(集草カゴ含む)
大きさ(概略寸法)	作業時 長さ580×幅473×高さ400mm (集草カゴ含む、ハンドル部含まず)
	収納時 高さ724mm 長さ410mm(集草カゴ含む) 295mm(集草カゴ含まず) ※大きさは概略寸法です
刈り高さ	15段調節 約5~約40(mm)
刈り込み幅	約300(mm)
回転数	強：約2,200回転/分 標準：約1,800回転/分

芝生の年間お手入れ計画

■美しい芝生づくりには、芝刈りだけでなく、除草・殺菌などのきめ細かなお手入れが必要です。

(下表は一般的な方法であり、栽培条件や天候などにより結果が異なる場合があります)

芝の組み合わせ	春 3月・4月・5月	夏 6月・7月・8月	秋 9月・10月・11月	冬 12月・1月・2月
日本シバ のみの庭	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 芝が緑になり始めたら、2～3週間に1度刈り込む。 ■目土 : 4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■水やり : 1週間に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■施肥 : 4月に入ったら月に1度芝用肥料をやります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度は刈り込む。 ■水やり : 1週間に2度、朝か夕にたっぷり。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 ■エアレーション*1 : 7～8月に1度行う。 ■サッチング*2 : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 2週間に1度刈り込む。 ■水やり : 1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。芝が枯れだしたらやめます。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。定期的にやるとグリーンが長持ちします。 ■エアレーション : 9～10月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 不要です。 ■水やり : 不要です。 ■施肥 : 不要です。
	茶色く枯れた状態 グリーン		茶色く枯れた状態	
西洋シバ (単一種) のみの庭	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度刈り込む。 ■目土 : 4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■水やり : 1週間に1～2度、全体にやります。 ■施肥 : 月に1度芝用肥料をやります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度は刈り込む。 ■水やり : 1週間に3度、朝か夕にたっぷり。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 ■エアレーション : 7～8月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度刈り込む。 ■水やり : 1週間に1度、全体にやります。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 ■エアレーション : 9～10月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 2週間に1度刈り込む。 ■水やり : 不要です。 ■施肥 : 不要です。
	グリーン	グリーン(病気にかかりやすい時期)	グリーン	
西洋シバ (混合種)	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度刈り込む。 ■目土 : 4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■水やり : 1週間に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■施肥 : 4月に入ったら月に1度芝用肥料をやります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度は刈り込む。 ■水やり : 2日に1度、朝か夕にたっぷり。(梅雨どきは降雨量に合わせて調節) ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 <p>注) ●生長旺盛な時期なので小まめな芝刈を。つねに芝高約12mmキープを目安に。 ●土の温度を下げるために、水やりも小まめに。病気の防止にもなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■エアレーション : 7～8月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■オーバーシード*3 : 9月初旬～10月中旬に寒地型と暖地型の西洋シバのブレンド種を蒔きます。オーバーシードした翌年からは、芝の少ないところに再度種を追い蒔きしてください。 ■刈り込み : 1週間に1度必ず刈り込む。 ■水やり : 1週間に1～2度たっぷり。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 ■エアレーション : 9～10月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 2週間に1度刈り込む。 ■水やり : 1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。 ■施肥 : 不要です。
	1年中グリーン		1年中グリーン	
日本シバ + 西洋シバ ●ペレニアルライグラス ●トールフェスク	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 2週間に1度必ず刈り込む。 ■目土 : 4月に入ったら1度刈り込んだ後に、元の芝が見える程度に目土を入れます。 ■水やり : 週に1～2度、全体に表面が濡れる程度に。 ■施肥 : 月に1度芝用肥料をやります。 <p>4月後半に西洋シバを25mm程度まで伸ばした後、10mmに刈り込んで、日本シバと切り替えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 1週間に1度は刈り込む。 ■水やり : 1週間に2度、朝か夕にたっぷり。(梅雨どきは降雨量に合わせて調節) ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 <p>注) ●生長旺盛な時期なので小まめな芝刈を。つねに芝高約12mmキープを目安に。 ●土の温度を下げるために、水やりも小まめに。病気の防止にもなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■エアレーション : 7～8月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■オーバーシード : 9月初旬～10月中旬に寒地型の西洋シバ(ペレニアルライグラスまたはトールフェスク)の種を蒔きます。(ベースが日本シバの場合、混合種の西洋シバを追い蒔きすると、2～3年後に西洋シバに変わります。) ■刈り込み : 1週間に1度必ず刈り込む。 ■水やり : 1週間に1～2度たっぷり。 ■施肥 : 月に1度全体に均一に。 ■エアレーション : 9～10月に1度行う。 ■サッチング : この時期に1～2度、刈り込み後に行うと効果的。 ■目土 : エアレーション、サッチング後に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■刈り込み : 2週間に1度刈り込む。 ■水やり : 1週間に1度、全体に表面が濡れる程度に。 ■施肥 : 不要です。
	1年中グリーン		1年中グリーン	

*1エアレーション : 地中に空気を送り込むために穴をあける作業。穴は10cm間隔で、深さは5～10cmくらいにします。
*2サッチング : 芝生の枯れ葉や刈りカスを取り除く作業。サッチが堆積すると、芝生の生育に障害になります。
*3オーバーシード : 暖地型芝(日本シバ)の上から寒地型芝(西洋シバ)の種子をまくことで、暖地型芝の休眠期である冬でも緑の芝を保つ方法。

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	処 置
芝がうまく刈れない	刃先のフレ、カケ、磨耗、変形など。	刃を交換してください。 P14・15参照
芝を刈って数日後、芝の葉先が枯れる異常音がある	刃のすり合わせが、正しくない。	刃のすき間調節を行なってください。 P12・13参照
動作しない	ブレーカーが作動している。	刃や軸にからんだ芝・異物などを全て取り除いてから、ブレーカーを復帰させてください。 P16参照
	集草カゴがしっかりと取り付けられていない。	集草カゴを正しく取り付けてください。 P6参照
	集草カゴが変形している。	集草カゴを交換してください。 P19参照
	電源コードが正確に接続されていない。	正しく接続してください。 P7参照
	電源コードや延長コードが断線している。	電源コード、延長コードが切断していないか確認してください。
ひんぱんにブレーカーが作動する	能力以上の負荷がかかっている。	ゆっくり刈り込んでください。 P10参照
		刈り高さ調節ダイヤルで刈り高さを高く設定してください。 P6参照

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
お買い上げの販売店へ
お持ちください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!
- 保証書(別添付)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
(ただし刃は消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

■補修性能部品の保有期間 **5年**
当社は、この庭園芝刈機の補修性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注) 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

22ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	庭園芝刈機	お買い上げ日	年 月 日
品 番	EY2263P・EY2273P	故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は

修理ご相談センター	
ナビダイヤル (全国共通番号)	ハイ 365日 0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。 365日/受付9時~20時	
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。	
大阪 ☎06-6906-1090	〒571-8686 大阪府門真市門真1048 パナソニック電工テクノサービス(株)
札幌 ☎011-261-6401	☎名古屋 ☎052-551-7900
東京 ☎03-5392-7190	☎福岡 ☎092-622-0531

ご注意 ・ ☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター	
365日/受付9時~20時	
電話	ナビダイヤル ☎0120-878-365 ☎0120-878-365
■携帯電話・PHSでの利用は… 06-6907-1187	
FAX	ナビダイヤル ☎0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open : 9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	

0810

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い パナソニック電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
製造元 **パナソニック電気株式会社 パワーツール事業部**
〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
パナソニックホームページ <http://panasonic.jp/>